

かわねほんちょう 議会だより

第48号

平成29年11月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会



新しい議会の構成がまりました	2～3
平成28年度一般会計・特別会計決算を認定	4～6
6人の議員が町政を問う	8～13
議会研修報告 静岡大学学生との合同研修.....	14
平成29年度議員視察研修報告	15
シリーズ 明日を拓く人たち (かわね四季の会)	16

開かれた議会を目指して。。。

新しい議会の構成が決まりました

10月20日、平成29年第1回臨時会が開催され、正副議長をはじめ委員会の構成や一部事務組合議会の議員が決まりました。



副議長 野口 直次



議長 中澤 莊也

議長 就任あいさつ

10月20日の臨時会におきまして、議長に選任されました。その責任の重さに身が引き締まる思いであります。議長としての職務遂行に全身全霊を傾け、町政の発展と言論の府としての議会の公正かつ公平な運営に努め、町民の皆様にご信頼される議会となるよう努めてまいります。また、少子超高齢化の流れの中で発生してまいります様々な地域課題や問題に対しては、行政との連携を密にし、住民の皆様への思いや声に耳を傾けながら課題等の解決に向けて議会一丸となって取り組む所存であります。「一歩前に踏み出すことにより未来はきつと変えることが出来る。」と思っております。

それぞれの立場で知恵を出し、汗をかきこの川根本町を「誰もが安心・安全に自分らしく暮らせるふるさと」にしていこうではありませんか。地域やまちが自分に何かをしてくれるのを期待するのではなく、自分が地域やまちに対して何が出来たのかを考えたほうが、より豊かで充実した日常生活をおくる事が出来ると思っております。今後とも、町民の皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

副議長 就任あいさつ

このたびは副議長の重責を担うこととなり、職責の重さを痛感し身の引き締まる思いです。議員として町民の代表

として自覚を持ちそれぞれその力を出し合って皆で、この町をより良くするよう知恵を絞ります。今後の議会運営に当たりたいと思っております。微力ではございますが、議会の発展の為に今後、努めて参りますので、町民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

鈴木敏夫町長よりごあいさつ



川根本町長として2期目となり、行政と議会、そして町民が一体となってまちづくりを進めることが非常に重要です。町を取り巻く環境は大変厳しい環境にありますが、力を合わせ、それぞれの目

標達成のためにまい進するため、第2次総合計画に従って対応していくことが課題です。そういった中で、議会では各種委員会が発行される議論が活発に行われ議論が出来るシステム作りが必要で、新しい時代に力を合わせて明るいまちにしていくために力添えをいただきたいと思っております。

第一常任委員会

担当：総務課・企画課・情報政策課・税務住民課・くらし環境課・健康福祉課・高齢者福祉課に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項



委員 長 藺田靖邦



副委員長 石山貴美夫



委員 澤西省司



委員 山本信之



委員 中田隆幸



委員 中澤莊也

第二常任委員会

担当：農林課・建設課・観光商工課・教育委員会の所管に属する事項



委員 長 坂本政司



副委員長 杉山広充



委員 中原 緑



委員 中野 暉



委員 太田侑孝



委員 野口直次

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会や委員会の条例・規則、本会議の日程等、議会運営に関する事項を決定する重要な組織です。

委員 長 中野 暉 委員 石山貴美夫
副委員長 杉山 広充 “ 藺田 靖邦
“ “ 坂本 政司

広報委員会

年4回発行する議会だよりの編集や議会ホームページの編集などを行います。次号の議会だよりにから編集を担当します。

委員 長 野口 直次 委員 中原 緑
副委員長 坂本 政司 “ “ 澤西 省司
“ “ 杉山 広充

一部事務組合議会議員

◎川根地区広域施設 組合議会議員
◎駿遠学園管理組合 議会議員

澤西 省司 石山貴美夫
坂本 政司
野口 直次

平成28年度 一般会計・特別会計決算を認定

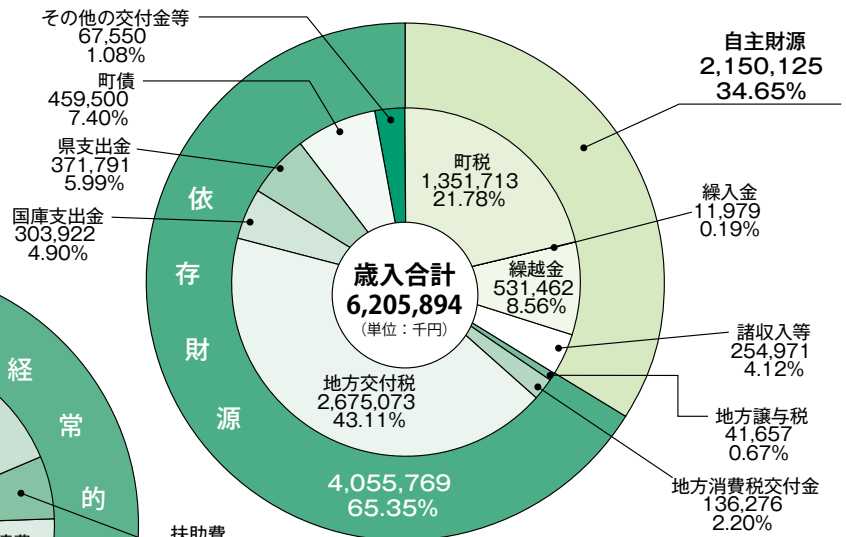
本会議初日に決算特別委員会を設置し、4日から6日までの3日間で審査を行いました。意見や要望が次年度の予算に反映されるよう、あらかじめ抽出した33事業について担当課より効果や課題等の報告を受け、質疑応答を行いました。

☆5年間の町税の推移

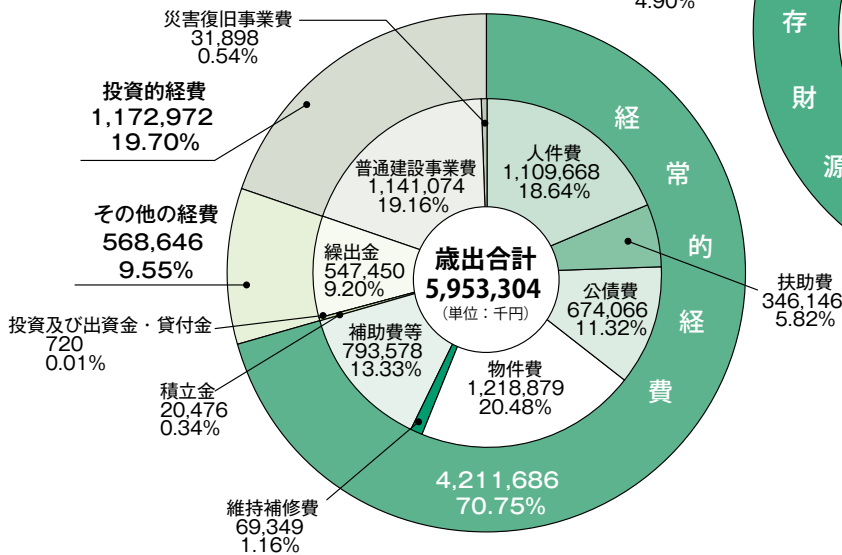
(単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
町 民 税	296,833	302,038	294,537	302,116	310,847
固定資産税	903,944	1,018,510	1,034,079	1,001,914	981,481
軽自動車税	20,909	21,237	21,594	21,924	25,954
町たばこ税	29,758	33,136	31,391	30,231	28,047
入 湯 税	6,997	5,614	5,339	5,545	5,384
歳 入 合 計	1,258,441	1,380,535	1,386,940	1,361,730	1,351,713

【平成28年度決算】 一般会計歳入の内訳



【平成28年度決算】 一般会計歳出の内訳



☆特別会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

	年度	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	温 泉	いやしの里診療所
歳入決算額	27年度	1,086,222	117,480	1,190,555	288,398	33,308	40,962
	28年度	1,043,515	119,506	1,228,671	204,059	28,209	39,050
歳出決算額	27年度	1,026,173	117,285	1,146,616	281,722	33,007	40,876
	28年度	1,002,327	119,567	1,149,196	201,284	27,969	38,917
繰 越 額	27年度	60,050	60	43,939	3,469	101	83
	28年度	41,188	-61	79,475	2,775	240	133
28年度当初予算額		1,040,542	122,200	1,298,137	210,045	31,500	40,765

決算特別委員会審査報告

委員会の中で審議された内容についての一部を抜粋して報告します。

- 一般会計…賛成多数
- 観光商工課（川根本町まるごと遊道得事業）
- 問 自家用車利用者も事業の対象とするよう検討が必要とあるが、効果が見込めるのか。
- 答 目的はオフシーズン対策。自家用車利用者には宿泊してもらっためには効果があると考える。
- 農林課（耕作放棄地再生利用対策事業補助金）
- 問 有機栽培への支援は考えられないか。
- 答 農地集約化が進んでいる場所は有機栽培を目指す方が多い。特産化事業には該当するため支援は可能である。
- 建設課（定住促進住宅建設事業補助金）

補助金実績9件の申請は移住してきた方からのものか。

- 答 9件の実績はすべて町内在住者。
- 高齢者福祉課（外出支援サービス事業）
- 問 車両を増やす計画はあるか。
- 答 予定はないが、町外への通院手段の確保が課題で、町の医療体制と合わせて検討する。
- 教育総務課（若者交流センター運営費）
- 問 川根高校存続は地域活性化ということでの取り組みだが、将来的なビジョンを明確にする必要があるのではないか。
- 答 財政面も含め県教育委員会と協議している。全国公募状況を含めて将来的な構想を明確にする。
- 社会教育課（文化会館自主事業）
- 問 年間パスポートの発行枚数は。

昨年度は大人40枚、小中学生3枚。金額は大人2千円、小中学生千円。

- 健康福祉課（放課後児童クラブ）
- 問 支援員のスキル向上が課題ということだが、専門的知識を有する職員の配置は。
- 答 中川根クラブに2人。講習は受けているが今後の対応が課題。
- くらし環境課（大井川沿線景観整備事業）
- 問 管理ができなくなった駅前の花壇の管理は。
- 答 大井川鐵道にお願いすることになるが、町も協力する。
- 総務課（常備消防事務委託）
- 問 広域化前の経費以上の負担は生じないという方針だが、増額している理由は。
- 答 人件費、システム改修経費等は新たな負担が生じるということ、職員の増員や消防指令システム等更新経費の増額。

費の増額。

- 企画課（地域おこし協力隊）
- 問 移住者のアイデアを活かす取り組みが必要では。
- 答 地域おこし協力隊は、関係する機関の話し合い等に引き込んでいくことが大事。移住者の皆さんには、移住相談等で協力を得ている。
- 情報政策課（地域情報化の推進）
- 問 教育分野以外でのICT利活用の進捗状況は。
- 答 Wi-Fiステーションのほか防災用監視カメラを高郷河川敷と千頭駅前設置。各課の事業予算の中で利活用は進んでいる。
- 税務住民課（滞納整理機構移管業務）
- 問 滞納整理機構への移管件数は。
- 答 移管件数は5件。生活困窮者（生活保護）は対象としていない。

- 国民健康保険特別会計 …… 全員賛成
- 後期高齢者医療特別会計 …… 賛成多数
- 介護保険特別会計 …… 賛成多数
- 簡易水道特別会計 …… 賛成多数
- 温泉事業特別会計 …… 全員賛成
- いやしの里診療所特別会計 …… 全員賛成

まとめ

連日、各課長及び担当職員の説明を受け、委員からの質疑、意見等に対し町長、担当課長が回答。今後の予算編成に繋がる決算審査となりました。連日、熱心に審査された委員、職員の皆様に感謝申し上げます。

決算審査最終日には、現地調査として、地名の若者定住促進住宅、農林業センター、塩郷駅周辺、みどりの丘えまつの4か所を視察しました。

決算特別委員長
 藺田靖邦

決算審査での現地調査の様子

きれいに整備された塩郷のつり橋（恋金橋）の歩道（商工費関係）



外壁の塗装が終わりきれいになったみどりの丘えまつ（民生費関係）



9月議会会で決まったこと

9月議会初日に上程された議案14件（諮問2件・同意3件・議案9件）は速報版でお知らせしたとおり、13日（本会議2日目）に全員賛成で可決しました。

最終日の19日は、一般質問（6人）の後、28年度決算審査の報告（5ページ参照）後、討論・採決が行われました（賛否表参照）。

また、議員発議により意見書2件も全員賛成で可決。国の関係機関へ送付しました。

◎道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書
 ◎「全国森林環境税」の創設に関する意見書

反対・賛成討論（3件）の要旨

一般会計決算認定

反対!

鈴木多津枝

町民の暮らしを守るための事業が大半だが、不評の「かわねフォン」に年3千万円近い維持管理費の支払い。個人情報漏えいや人権侵害など反対が強いマイナンバーも国の言いなりで貴重な財源を注ぎ込む一方で、待ったなしの子育て支援や若者定住支援などは消極的。長年地域の発展に尽くされた年金だけが頼りの高齢者への買い物・通院支援も乏しく、誰もが安心して暮らせる決算とは言い難い。

賛成!

中澤荘也

歳入については、国・県補助金においても過大な見積りは認められず、ほぼ予算で見込んだ通りの額が確保されている。また、歳出については、項目ごとに生じた不用額は、事業未実施や事業費等を過大に見積もったことによる原因があるのではなく、予算の目的は十分に達成しながら節約・工夫によって生じたものと考えられる。

後期高齢者医療特別会計決算認定

反対!

鈴木多津枝

75才以上の高齢者を強制的に県単位の医療保険に囲い込み、年金が月1万5千円以上あれば保険料の年金天引き、以下でも滞納が続けば窓口10割の罰則。負担増押付けで重症化や手遅れに。高齢者に冷たい欠陥制度。

賛成!

中澤荘也

本会計の広域連合に納める負担金は、医療実績に基づいて算出された保険料と、保険基金安定を図るための負担金で、安定した医療制度を維持していくために必要な予算の執行である。

介護保険特別会計決算認定

反対!

鈴木多津枝

高齢者や家族に無くてはならない会計。職員のきめ細かな努力に敬意を表すが、高見積もりの保険料値上げで7千万円余も余剰が出た。県の基金借入や一般会計繰入で、耐え難い保険料値上げを回避すべき。

賛成!

中澤荘也

繰越金が多かつたことについては、あかいしの郷の増床やグループホールの増設が予定より遅れたことに起因するもので、歳入・歳出ともに適正な予算の執行である。

<9月定例会 議案審議の結果> 9月19日（最終日）に議決した議案 (議長は裁決には入りません)	中澤	鈴木	森	小	中	山	芹	根	野	坂	園
認定第1号 平成28年度川根本町一般会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号 平成28年度川根本町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号 平成28年度川根本町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号 平成28年度川根本町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号 平成28年度川根本町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号 平成28年度川根本町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号 平成28年度川根本町いやしの里診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号 道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【訂正のお詫び】

8月発行のかわねほんちょう議会だより第47号の5ページ、平成29年6月定例会の報告記事において、補正予算の主な内容で「①中川根ごみ処理場・本川根美化センター解体工事 7,819万2千円」と記載いたしました。これはすでに当初予算に計上されていた事業で、今回、解体工事にあたり請負工事契約を締結したということを経営の承認を求める内容のもので、6月定例会で議決した補正予算とは関係のない内容のものでした。訂正して、お詫びいたします。

川根本町議会広報委員会

一般質問

質問の概要を発言順に掲載します

6人の議員が町政を問う！

9月定例会最終日に一般質問を行いました

8ページ	中澤 莊也 議員 グループホーム等の整備計画は
9ページ	小藪 侃一郎 議員 決算議会で振り返り反省し進歩に
10ページ	藪田 靖邦 議員 4年間で振り返り、今後どのように繋げるか
11ページ	根岸 英一 議員 製材所運営の予定時期は
12ページ	野口 直次 議員 ナラ枯れ含め集落の景観等整備は
13ページ	鈴木 多津枝 議員 戦略のはずの子育て支援本気度は

あの一般質問 一体どうなってるだやあ〜

Q. 地域資源有効活用で温泉施設等への木質バイオマス発電の検討を

(平成27年3月定例会 質問者：鈴木多津枝議員)

- A. 林地残材の活用は林業振興による雇用など波及効果は大きい。発電事業は木材確保や価格上昇などがリスクとなり難しいが、薪ボイラーに木質バイオマスは有効であり、製材所の必要性が高まれば、再生エネルギーの推進に取り組んでいきたい。

現状と効果 ○平成27年度桑野山貯木場を町で購入し、木材の拠点ができた。

同年には木の駅事業が立ち上がり、今まで山林内に放置されていた未利用材の有効利用が始まった。

平成28年度には貯木場に簡易製材機を導入し、板材や柱材の製造ができるようになった。

今後の取り組み ○貯木場に整備した製材機、木工加工機を利用する

人を募集し、木製品の開発や薪などの製品を生み出していきたい。また、生産された薪を利用し、薪ボイラーの導入を検討していきたい。



桑野山貯木場に導入された製材機

一般質問



中澤 莊也 議員

問 グループホーム等の整備計画は

答 居住系サービス等のあり方と合わせて協議

いて、グループホーム等の充実を図り、施設入所から地域生活への移行の推進とあるが、町内には障がい者の施設として就労継続支援B型事業所という日中支援のサービスは少なく、現状では町外のサービスを利用していただいている。今後については、引き続きグループホーム等を運営していただけるよう、町内福祉団体、NPO等に根気よく協議を進めていきたいと考えている。

所者の方々が望んでいることは重々認識している。今後の居住系サービス等のあり方と合わせて、関係機関と協議しながら検討していく。

質問 旧青部小学校の歴史的資産としての価値をどのように考えるのか。

町長 町文化財審議会委員から古い建物ではあるが、著名な建築家がつくった建物でもなく、特殊な技法が用いられているものではないことから、町の文化財としての観点からは該当しないという意見が出された。

質問 青部駅周辺土地利用検討委員会利用の立ち上げ時期、性格、メンバーの構成は。

町長 今後、町有地を含めた盛土計画により利用区域の範囲が想定される。区域の設定と合わせて速やかに委員会を立ち上げる予定である。委員会の性格は、土地の利活用を主目的として協議し、メンバー構成としては、具体的には決定してい

ないが、10人程度を予定し、地元・産業・金融・各種団体等からの選出を考えている。

質問 専門家による歴史資産等の調査を行う考えはあるか。

町長 NPO法人静岡県伝統建築技術協会に依頼して既に調査を実施している。調査報告として、青部駅と旧青部小学校や懐かしい風景は分断されている状況にあり、

この状況で校舎を残していくには、地元住民の理解と景観形成のための更なるコンセンサスを形成させる必要があるという意見をいただいている。

質問 グループホーム、ケアホームの整備計画は。

町長 グループホーム、ケアホームの整備計画は、平成27年度策定の川根本町第4期障がい者福祉計画にお

質問 グループホーム等を運営しているところへの支援は。

町長 支援については現段階では考えていない。しかし、一人暮らしになっても、高齢になっても、この地で安心・安全に自分らしく暮らしていきたいと多くの事業所等通

みどりの丘えまつ作業風景



いきいきとして働くみどりの丘えまつの通所者の皆さん

一般質問



議員 蘭田靖邦

問 四年間を振り返り今後どのように繋げるか

答 人づくりとICT関係者との積極的な展開をする

なシステムとなることである。

質問 新規産業の創出でゾーホージャパンの地元雇用状況や要望は。

企画課 現在は地元の子育て世代の女性一名、本年、八月にはシステムエンジニア一名が採用されている。要望は、従業員が来た時の対応、住環境の問題などがゾーホージャパンからあった。今回の進出をきっかけにチャンスと捉え連携して誘致活動をする。

質問 会社や大学との共同研究組織は考えられないか。

企画課 企画して一緒に研究していくことは可能。産・官・学様々なプロジェクトの中で施策によっては考えられる。

質問 専門官を中心とした新規産業の創出を考えるチームは

つukれないか。

町長 これからは、積極的に対応することが必要。

質問 中長期的にみた行財政のあり方について伺う。

町長 めり張りを付けて予算を組むべきで緊急の場合の対応や歳出ばかり気にしないで歳入を気にして歳出を考えることが大事。

質問 小中学校のICT教育の進捗状況は。

教育総務課長 具体的にはベネッセコーポレーションが所有するミライシードというシステムのの中のドリルを使つての学習等がある。また教員が町独自の学習プラットフォームで川根シードというシステムを使つて作成した教材による授業が行われている。受託事業者

とも協議しながら進捗していく。

質問 現在調整している点、学校からの要望事項を伺う。

教育総務課長 現在、新規に整備したネットワーク内の機器とミライシード、アプリケーションとの接続の安定を事業者が原因を究明、確認しながら対処している。要望事項は動画視聴のためのアプリケーションの設定、タブレットと既存のパソコンとのデータ共有のためのシステム構築、各小中学校共通したマニュアルの作成、有効



小中学校でのICT教育

活用のためのアプリケーションの新しいインストーलなどがある。

質問 今後の進め方について伺う。

教育総務課長 町として責任を

持つて行わなければならない。キャリア

ア教育、基本コンセプトは学校と家庭が連携して育てる教育環境、

教職員の多忙化解消の一助、当町で推進していくICT教育が他地域のモデルとなるよう

創出を考えるチームは



ゾーホージャパンのCEO(最高経営責任者)が来町

問

製材所運営の予定時期は

答

来年度当初には運営したい

質問

桑野山貯木場を林業の拠点として整備しているが、現在の取組状況と製材所運営時期について伺う。

町長

貯木場では多くの材木が搬入され活気が出てきた。簡易製材機の購入、木工機械の寄付により、板や柱の製造・仕上げができ、本町で製造されている茶箱やメンパの材料提供や町民が必要な材料が提供できるように進めている。

農林課長

現在、試験的に簡易製材機、木工機械を稼働しているが、材料の調達や利用料の設定、販売単価等の課題を調整し、来年度初めには運営したい。



整備された簡易製材機の活用が望まれる

質問

ユネスコエコパークに登録される3年経過。核心地域は光岳周辺で、全国に5カ所しかない大変貴重な原生自然環境保全地域「大井川源流部」がある。光岳への林道・登山道の整備はできないか。

町長

寸又左岸林道の大規模な道路崩落等が数カ所あり、木

質問

材搬出はおろか国有林の管理にも支障を及ぼしている。国の管理区域であるが国は膨大な費用をかけて林道・登山道の整備を行う考えはない。町では要望し

質問

かできない状況。かつては数百人の営林署職員が、国有林管理・整備をしていたが、20年余放棄状態が続いている。林業振興、従事者等の雇用に向けて、国有林の自然環境保護や景観整備、エコパーク、地方創生等で国へ予算・補助金の要望ができないか伺う。

町長

農林水産省、林野庁、環境省等へ陳情しているが厳し

い状況。しかし、諦めずに積極的に対応していきたい。

質問

キャリア教育を基盤としたR G授業の中間評価について伺う。

教育総務課長

今年度は、問題解決力、コミュニケーション力、表現力の3点を中心に計画し、自校での授業の成果をR G授業の中で発

揮できるよう実践している。課題解決のためのコミュニケーション力や表現力が身につけてきた。R G授業取組への教職員の意識が醸成され、対話的な学び

の実践化により、狙った力が児童に身につくにつれ、着実に成果は上がっていると考える。



根岸英一 議員



光岳の原生自然環境保全地域

一般質問



野口直次 議員

問

ナラ枯れ含め集落の景観等整備は

答

早期に環境条例等の検討を行う

質問

ナラ枯れは、ブナ科樹木萎凋病

と呼ばれる、日本の在来昆虫でカシナガと言う名前で五ミリ程度の虫が運んだナラ菌が木の中で増殖し、水を吸い上げる、管を詰まらせ、葉は赤くなって枯れ、最後は倒木の危険がある。カシナガの成虫は年間移動範囲が一キロにもなる。現在当町でナラ枯れが目立つ中、被害の状況を把握でき

ているのか伺う。

町長

今年町内でナラ枯れ多数確認。

多額の費用が見込まれるため防除は難しい。コナラ以外に、桜、カシにも見受けられると聞いている。

質問

ナラ枯れを放置すれば、倒木に

より二次被害も起こる可能性もある。土砂崩れ等、災害対策はどうするのか。

町長

急速に被害が拡大中で、所有者

の個人負担が大きく対応が難しい。人的被害が想定される箇所、民家、道路、施設に直接被害の想定箇所、危険な所は対応していただくことで理解していただきたい。

質問

町内への今後碾茶の普及は考えているか。

町長

遅場所であるが、茶生産を乗り越

えるため9月議会で碾茶工場整備事業補助金交付をお願いした。国内外で需要が高まる抹

茶に対して農協、行政、企業の一貫体制等は農家所得改善から茶生産の一つの方法として推進していきたい。

質問

荒廃農地は、景観に限らず地域住民の日常生活への影響、防犯、衛生面の悪化も懸念される。今後の対策が急がれるのではないか。

町長

ユネスコエコパークに登録された「日本で最も美しい村」連合へも加盟したが、将来的に農地等が荒れた場合には認定は取り消すということになる。



ナラ枯れの被害拡大が懸念される



問

戦略のほずの子育て支援本気度は

答

強い説得を糧に計画の実施を誓う

質問

鈴木町政4年間に人口は800人近く減り出生数は年20人足らず。第二次総合計画に掲げた「誰もが安心して暮らせるまち」や重点戦略である人口減少抑制の自己評価を問う。

①保育料無料化や学校給食費の無償化、負担軽減など子育て支援の拡充は待ったなし。国の制度や法律の範囲内では、各委員会の意見で決める等で、重点戦略といえるのか。

②年金が頼りの高齢者が安心して生活できるための負担軽減ではどうか。

③真面目に働く者が報

われるよう正規・非正規の格差は正や小規模事業所支援では。

④交通弱者・生活弱者対策では。

⑤町の資源を生かした地産地消・循環社会の取り組みでは。

町長

①議員のそういう強い説得を糧に実施を誓います。

②介護分野では低所得者への軽減措置の周知・利用を勧め、団塊世代が75歳になる2025年に向けて住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう医療、介護、予防、生活支援等一体的な提供の構築を進めている。

③諸手当は町職員に準じて支給しているが賃金は最低賃金を基本としている。近隣市町や町内事業所等を考慮して待遇改善に努めたい。創業・継続支援、人材確保を進めている。

④旧町間のバス運行等、交通網の整備を進め、大鐵運賃補助も対策を練りたい。生活困窮者への支援、生活保護制度も活用していく。

⑤木の駅事業により放置木材の利用が始まった。木製品の開発や新生産など町内での循環を進める。



鈴木多津枝 議員



狭い通路の塩郷えん堤

質問

塩郷えん堤の水利権更新に向けて住民アンケートや流域自治体・国・県・中電へ協議開始の働きかけを。永久橋や久野脇側道路拡幅の要望も必要と思う。

町長

アンケートは考慮していない。住民の要望は量より質。むしろ、リニア中央新幹線工事で毎秒2t減少予測は重大だが、県は具体的な動きがない。関係市町と連携して対応したい。

質問

青部元小学校の「青部笑楽校学級委員会」への対応を伺う。

町長

地元住民を中心に立ち上げ、具体的に検討していきたい。



美しい景観の元青部小学校

町議会議員と静岡大学生が 川根本町のまちづくりについて合同で研修会を開催しました

若者らしい施策提案

学生と町議

まちづくりを共に学ぶ

8月7日(月)静岡大学
人文社会学部長の日詰一幸
氏のゼミで学ぶ学生11人が
当町を訪れ、ICTを活用
した教育、経済活性化、高
齢者医療・介護の3つの
テーマに分かれ、町の課題
や問題点等を若者の視点で
様々な提案をしていただき
ました。

教育分野では、子供達が
ICT機器の活用が苦手な
高齢者を指導すること。高
齢者は、子供達に町の伝統
文化を伝えていくことが大
切だという提案が、経済活
性化(観光&週末滞在)分
野では、アプリの活用や
寸又峡へのシャトルバスの
運行、空き家を活用した週
末村の設置などの提案が、
高齢者医療・介護分野では、
買い物弱者へのコンビニな
どと連携した移動販売など
の提案がされました。

今後の展望では、ICT
は導入して終わりではない。
必要な所へ効率的に対応で
きるようにし、導入の不安
をどう和らげ、町民の抵抗
感をどのようになくしてい
くかが大事であるといった
若者らしい現実的な提案が
なされました。

現地調査

学生は町内でのヒアリン
グ調査を事前に2日間実施
しました。その一部を抜粋
して報告します。

後継者等がなく耕作放棄
された茶園をワラビ園とし
て再生している様子を視察
しました。耕作放棄地にワ
ラビを植栽することで、雑
草の繁殖を抑え、周辺の良
好な住環境の維持に貢献し
ているなどの説明を受けま
した。

また、他県でも耕作放棄
地・雑草対策にワラビが利
用され、農家収入に寄与し
ている事例があるというこ
とでした。



耕作放棄地対策について地主の説明を聞く学生



ICTの活用を議論する議員と学生



トーマスフェアで訪れて下さった人たちを“冷茶でおもてなし”

8月19日(土)
に音戯の郷前にお
いて、「川根茶」
の冷茶サービスを
行いました。

夏の太陽がサン
サンと照りつける
暑い一日でしたが、
トーマスフェアで
県内外からおいで
になった大勢の皆
さんに呈茶をし、
「おいしいお茶だ
ね」と大変喜んで
いただきました。

リーフ茶の需要
が伸びない中、急
須ではなく、子供
でも手軽にお茶を
飲んでいただく方
法として、冷茶で
川根茶の提供を行
いました。

これを機に、川
根茶のファンが増
え、お茶の消費が
伸びることを願っ
ています。



冷茶のサービスをする議員



冷茶でのどを潤すトーマスフェアに訪れた皆さん

テレワーク事業で仕事の創出！ センサーネットワークで鳥獣被害ゼロ！

町議会議員の 長野県・山梨県行政視察報告

7月31日～8月2日、議員11名で長野県と山梨県へ視察に行きました。視察先では少子高齢化や若者流出など人口減少が進む中、企業誘致・移住定住・若者支援に力を入れており、特にICTを活用したテレワーク事業は、今後の本町の取り組みの参考になりました。

サテライトオフィス・テレワーク事業（長野県駒ヶ根市）

都市部からの人と仕事の流れをつくり、地域に仕事を創出するため、ICT（情報通信技術）で都市部と同じ仕事ができる環境を整えた「駒ヶ根テレワークオフィス」の整備に取り組んでいました。

○「駒ヶ根テレワークオフィス（H29年3月開設）」はサテライトオフィス^{*1}とテレワークセンター^{*2}の二つの機能を有し、サテライトオフィスには都市部の企業を誘致し、仕事と人材を受け入れ、テレワークセンターで仕事を行い、新たな就労場の創出を目指しています。

同時に、高度な仕事への展開を図るため、人材の発掘・啓発セミナー研修で、技能者の育成を図っています。

○現在の誘致企業2社。64人雇用（内女性63人）の雇用創出

【解説】※1 本社などから離れた所（郊外等）に設置されたオフィス

※2 通信環境やセキュリティ等の環境が整った共同利用型オフィス



空きビルを利用したテレワークオフィス

センサーネットワークによる鳥獣被害対策（長野県塩尻市）

20年前に光ファイバー網を整備。安い経費で最先端のICT環境を整備しました。ICTを鳥獣被害対策に取り入れ、取り組みからわずか2年で鳥獣被害がゼロとなり、農業収入は6.5倍に増加。

○ICTを活用した鳥獣被害対策：獣検知センサー・捕獲検知センサーの設置

・電気柵は使用せず、ロープと金網で獣の進入を防御。ICT機器による鳥獣出没情報の把握で住民が一体となり、鳥獣の習性を研究し、追い払いと捕獲を実施しています。

・獣検知センサーが感知すると、光が点滅し獣を追い払い、市内のセンサーネットワークを通じ、登録者の携帯電話にメールで通知されます。捕獲検知センサーは、鳥獣出没の場所に檻・罠を設置し、捕獲するとセンサーによるネットワークを通じて登録者の携帯電話にメールで通知されます。

○塩尻市と地元研究機関が事業を推進し、農家や猟友会との緊密な連携により、地域が一体となり鳥獣の出現時には地域住民が総出で追い払いを実行しています。



檻に設置する捕獲器センサー

移住定住対策（山梨県北杜市）

豊かな自然環境と美しい山岳景観、豊富な観光・農業資源があり、首都圏からの利便性もよく、移住希望先人気ランキング1位で、多くの移住希望者が訪れています。

<北杜市の移住サポート事業>

○お試し住宅事業（2泊3日以上7泊8日以内で使用料無料）

・寝具以外の設備の完備（冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、テレビ等）

○移住定住相談員（10名）が、移住者と地域をつなぐ橋渡し役として、空き家バンク見学会、移住セミナーに同行して説明案内をしています。

○子育て住宅購入費補助事業、子育て住宅ローン利子補給事業、子育て住宅リフォーム補助事業など補助事業を充実させています。

○移住希望者対象の田舎体験ツアーを実施。27～28年度は体験ツアー8回開催。31世帯85人参加、移住者は7世帯15人。



町営住宅の1室をお試し体験住宅として活用
（出典：北杜市HPより）

川根本町の明日を拓く人たち

今回は、茶茗館で「七夕コンサート」、「未来座談会」などを行い、茶茗館の利用促進や地域の活性化に努められている**かわね四季の会**を紹介します。

私たちの願いは、この町の人たち誰もがこの町に住んで良かった。この町に住みたい。そんな町になることです。

私たちのささやかな町づくりの活動が川根本町のために役立てれば幸いです。

かわね四季の会代表 太田起博

私たち「かわね四季の会」は町づくりを目的に約20年前にかつての青年団の仲間、友人、知人で結成しました。私たちの活動内容は、川根茶の発信基地である茶茗館を使って「七夕コンサート」、「秋の夜長を楽しむコンサート」、識者・活動家をゲストにした「未来座談会」、「手打ちそば教室、販売」などを茶茗館のお茶の喫茶をセットとして行っております。

また、社交の場として年齢、性別、ポジション、職業を問わない忘年会にも力を入れており、今では町内外からの参加者が50名程になっております。私たちの希望は、「この町の誰もが、この町に住んで良かった。」「この町に住みたい。」そんな町になることです。

私たちのささやかな町づくりの活動が川根本町の為に役立てば幸いです。これからは可能ならば行政、JA、企業、各種団体の方々と協力し合っ活動できれば、さらに楽しく、有意義なものになるのではないかと考えております。

皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。



エコルフォク（三ツ星）の皆さんによるフラダンス



お話しどんぐりの皆さんによる民話の朗読

◆ 12月定例会の日程 ◆

12月1日	金	9:00~	本会議 (定例会・初日)
		本会議終了後	全員協議会
12月7日	木	9:00~	本会議 (定例会・2日目)
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
12月15日	金	9:00~	本会議 (定例会・最終日)

○本会議場は役場本庁3階です。

○日程は変更することもありますので、詳しくは議会議務局（56-2229）までお問い合わせください。

**議会はどなたでも傍聴できます。
ぜひ傍聴にお出かけください。**

編集後記

暑い夏も過ぎ、季節が移り変わり、すっかり秋らしくなりました。皆様お変わりありませんか。

ある研修会で講師の先生が、議会改革には広報紙の充実が欠かせない旨の話をされました。その言葉に刺激され、私たちは皆様に手に取って読んでいただける議会だよりを目指して一生懸命編集に努めてまいりました。できるだけ文字を少なく、大きく、平易な言葉で、写真を多くしたり、「明日を拓く人たち」や「みなさん、知っていますか」といった

委員 中澤 莊也
副委員 鈴木多津枝
委員 中田 隆幸
委員 坂本 英一
委員 根岸 政司

《次号からは、新しい広報委員が編集を担当します。》

コーナーを設けて皆さんに親しんでいただけるような議会だよりになるよう心掛けてまいりました。これからも、もっと皆様と身近な議会だよりとなるよう努めてまいりますので、是非、お読みになった感想やご意見をいただきたいと思っております。
（中澤 莊也）